

医療用医薬品最新品質情報集（ブルーブック）

2017. 9. 29 初版

有効成分	アジスロマイシン水和物						
品目名（製造販売業者） 【後発医薬品】	1	アジスロマイシン錠 250mg 「DSEP」					全星薬品工業
	2	アジスロマイシン錠 250mg 「F」					富士製薬工業
	3	アジスロマイシン錠 250mg 「JG」					長生堂製薬
	4	アジスロマイシン錠 250mg 「KN」					小林化工
	5	アジスロマイシン錠 250mg 「KOG」					興和
	6	アジスロマイシン錠 250mg 「NP」					ニプロ
	7	アジスロマイシン錠 250mg 「SN」					シオノケミカル
	8	アジスロマイシン錠 250mg 「YD」					陽進堂
	9	アジスロマイシン錠 250mg 「アメル」					共和薬品工業
	10	アジスロマイシン錠 250mg 「サワイ」					沢井製薬
	11	アジスロマイシン錠 250mg 「サンド」					サンド
	12	アジスロマイシン錠 250mg 「タカタ」					高田製薬
	13	アジスロマイシン錠 250mg 「テバ」					武田テバ薬品
	14	アジスロマイシン錠 250mg 「トーワ」					東和薬品
	15	アジスロマイシン錠 250mg 「日医工」					日医工
	16	アジスロマイシン錠 250mg 「わかもと」					わかもと製薬
	17	アジスロマイシン錠 250mg 「TCK」					辰巳化学
	18	アジスロマイシン錠 250mg 「CHM」					ケミックス
	19	アジスロマイシン錠 500mg 「トーワ」					東和薬品
	20	アジスロマイシン錠 500mg 「日医工」					日医工
品目名（製造販売業者） 【先発医薬品】	①	ジスロマック錠 250mg					ファイザー
効能・効果	http://www.bbdb.jp						
用法・用量	http://www.bbdb.jp						
添加物	http://www.bbdb.jp						
解離定数 ¹⁾	15 員環上 N-メチル基由来：pKa=8.1 デソサミンの N-ジメチル基由来：pKa=8.8						
溶解度 ¹⁾	水：ほとんど溶けない。						
原薬の安定性 ¹⁾	水	なし					
	液性(pH)	なし					
	光	苛酷試験					
	保存条件	保存期間	保存状態	結果			
				外観	力価	分解物 I	分解物 II
	室温、白色蛍光灯（1000ルクス・24時間/	50日	ガラスシャーレ（ポリ塩化ビニリデンフィルム	変化なし	変化なし	変化なし	変化なし

		日)		で覆う)					
その他	試験								
			保存条件	保存期間	保存状態	結果			
						外観	力価	分解物 I	分解物 II
	苛酷試験	温度	60°C、暗所	3 ヶ月	無色ガラスバイアル(密栓)	変化なし	変化なし	変化なし	変化なし
		湿度	25°C、33 % RH、暗所	3 ヶ月	無色ガラスバイアル(開栓)	変化なし	変化なし	変化なし	変化なし
			25°C、92 % RH、暗所	3 ヶ月	無色ガラスバイアル(開栓)	変化なし	変化なし	変化なし	変化なし
長期保存試験	25°C、暗所	39 ヶ月	ポリエチレン袋 ファイバードラム入り	変化なし	変化なし	変化なし	変化なし		
加速試験	40°C、75 % RH、暗所	6 ヶ月	ポリエチレン袋 ファイバードラム入り	変化なし	変化なし	変化なし	変化なし		
膜透過性	なし								
BCS・Biowaiver option	なし								
薬効分類	614 主としてグラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの								
規格単位	250mg 1錠 500mg 1錠								

【記載データ一覧】

	品目名	製造販売業者	BE	品質 再評価	溶出	検査
1	アジスロマイシン錠250mg「DSEP」	全星薬品工業	○			
2	アジスロマイシン錠250mg「F」	富士製薬工業	○			
3	アジスロマイシン錠250mg「JG」	長生堂製薬	○			
4	アジスロマイシン錠250mg「KN」	小林化工	○			
5	アジスロマイシン錠250mg「KOG」	興和	○			
6	アジスロマイシン錠250mg「NP」	ニプロ	○			
7	アジスロマイシン錠250mg「SN」	シオノケミカル	○			
8	アジスロマイシン錠250mg「YD」	陽進堂	○			
9	アジスロマイシン錠250mg「アメル」	共和薬品工業	○			
10	アジスロマイシン錠250mg「サワイ」	沢井製薬	○			
11	アジスロマイシン錠250mg「サンド」	サンド	○			
12	アジスロマイシン錠250mg「タカタ」	高田製薬	○			
13	アジスロマイシン錠250mg「テバ」	武田テバ薬品	○			
14	アジスロマイシン錠250mg「トーワ」	東和薬品	○			
15	アジスロマイシン錠250mg「日医工」	日医工	○			
16	アジスロマイシン錠250mg「わかもと」	わかもと製薬	○			
17	アジスロマイシン錠250mg「TCK」	辰巳化学	○			
18	アジスロマイシン錠250mg「CHM」	ケミックス	○			
19	アジスロマイシン錠500mg「トーワ」	東和薬品	○			
20	アジスロマイシン錠500mg「日医工」	日医工	○			

注)「BE」は、生物学的同等性(BE)試験結果を示し、○印がついているものは本情報集にデータを掲載している。【4~7 ページ】

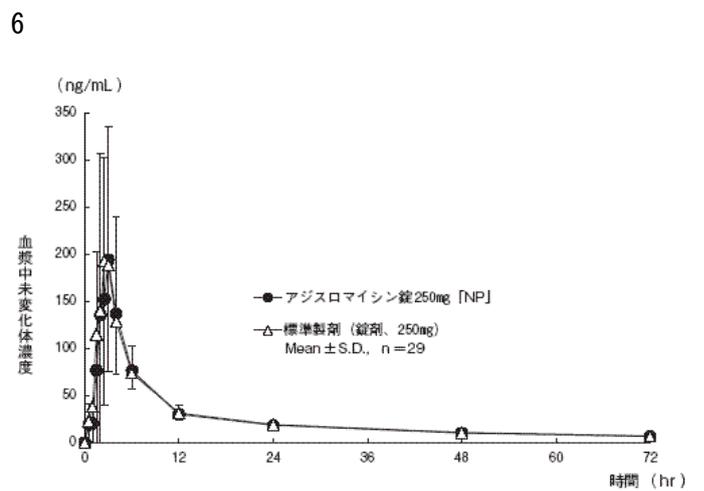
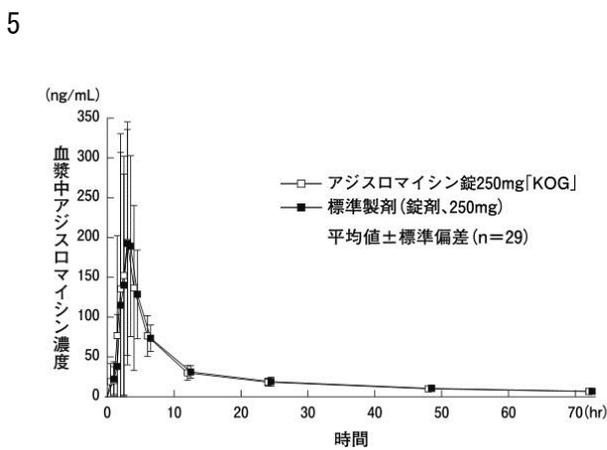
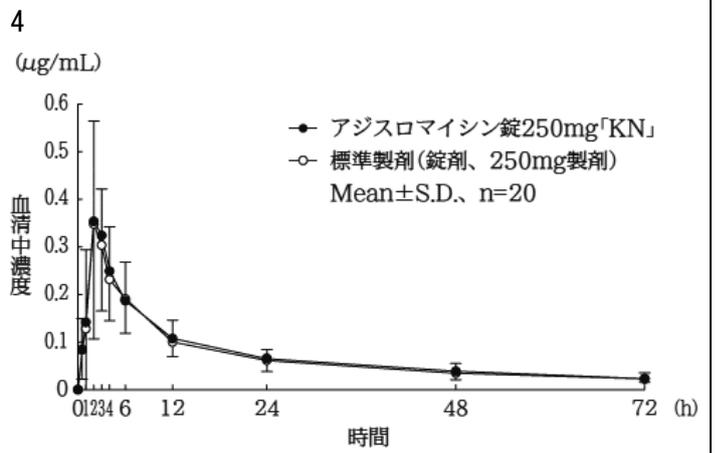
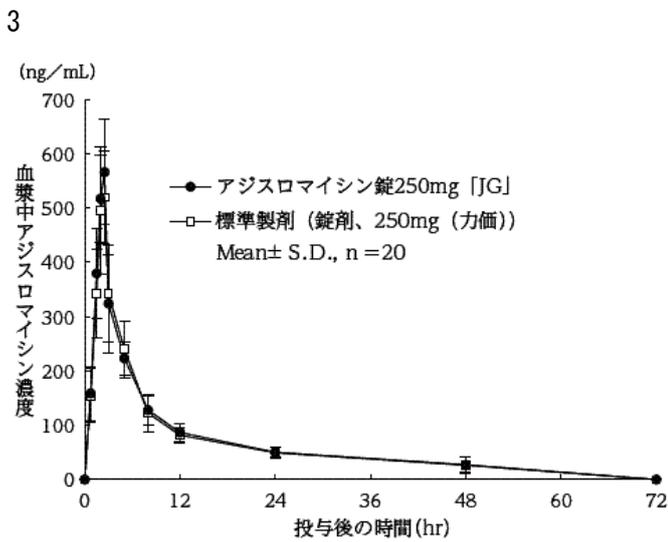
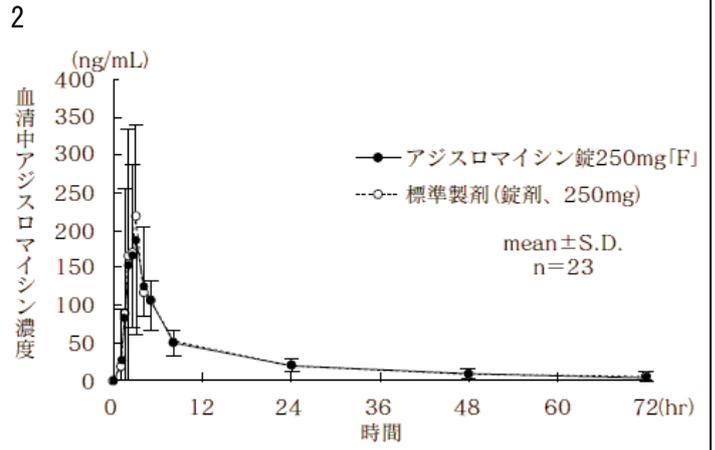
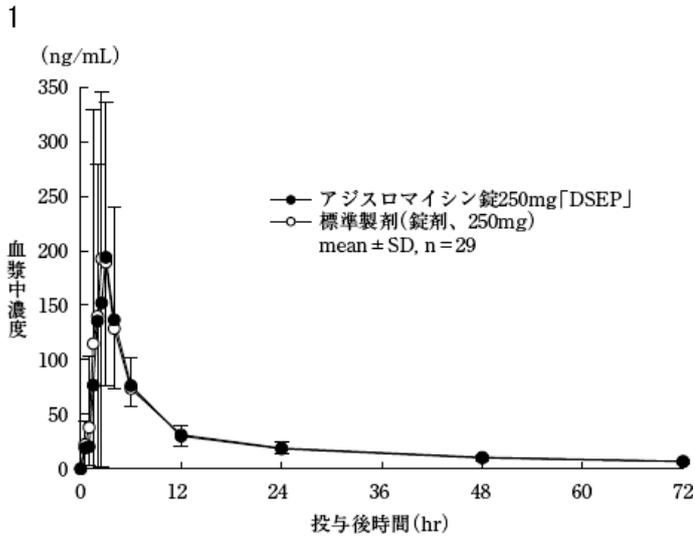
注)「品質再評価」の項目に○印がついているものは、品質再評価結果通知が発出されている品目である。空欄となっているものは、品質再評価指定以降に承認された品目等である。【8 ページ】

注)「溶出」は、ジェネリック医薬品品質情報検討会での溶出試験結果を示し、上記表中に番号の記載があるものは、試験を実施した品目である(上記表中の番号は、本情報集に掲載された溶出試験結果中の番号と対応している。)全品目で空欄となっている場合は、溶出試験未実施である。一部が空欄となっている場合は、当該試験実施以降に承認された品目等である。【9 ページ】

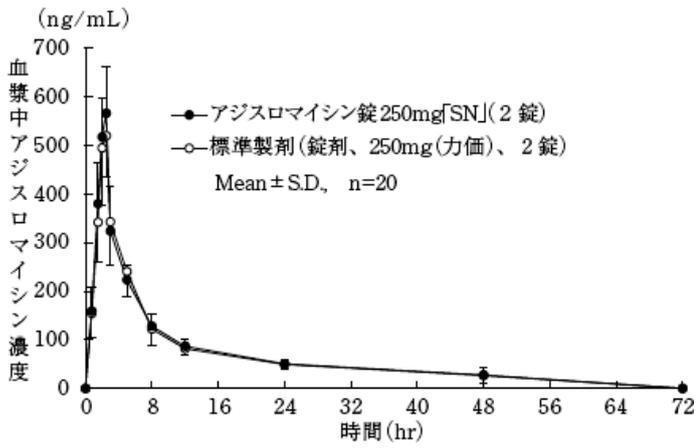
注)「検査」は、後発医薬品品質確保対策事業検査結果を示し、上記表中に○印がついているものは検査を実施した品目である。全品目で空欄となっている場合は、検査未実施である。一部が空欄となっている場合は、当該検査実施以降に承認された品目等である。【10 ページ】

注)全星薬品工業、富士製薬工業、長生堂製薬、興和、ニプロ、シオノケミカル、陽進堂、共和薬品工業、沢井製薬、東和薬品、日医工、わかもと製薬、辰巳化学及びケミックスの錠250mg並びに東和薬品及び日医工の錠500mgは、承認時において他社と共同開発されたものである(医薬品審査管理課調査による)。

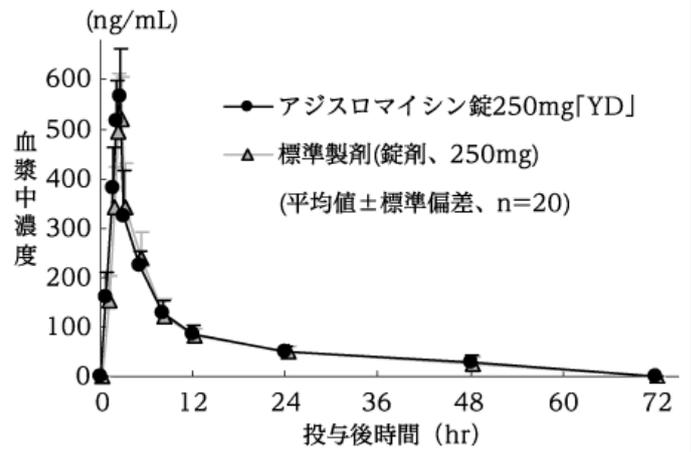
【生物学的同等性 (BE) 試験結果】



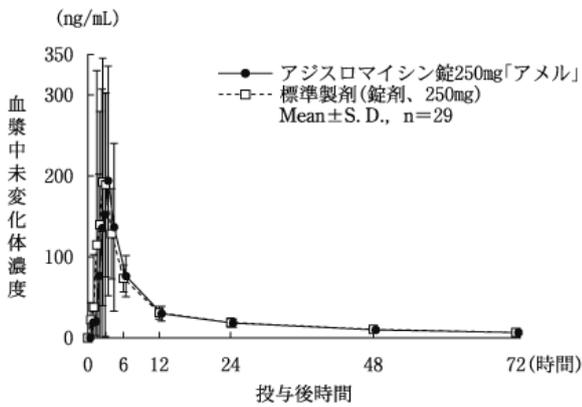
7



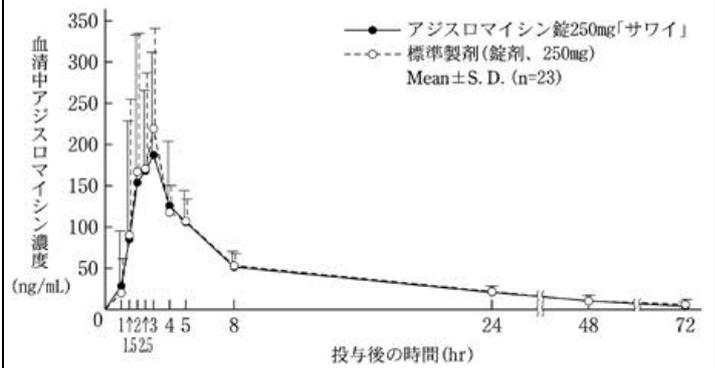
8



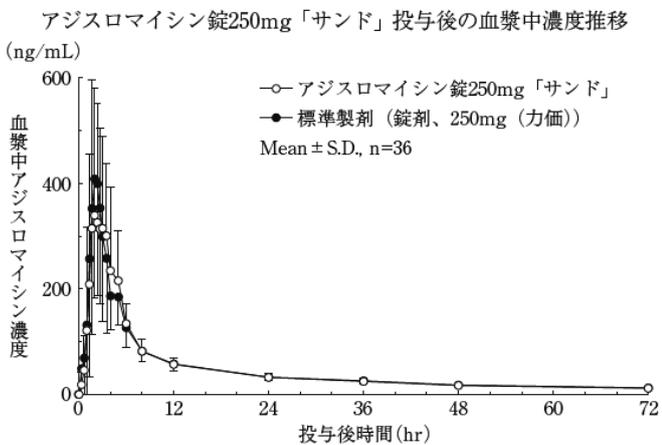
9



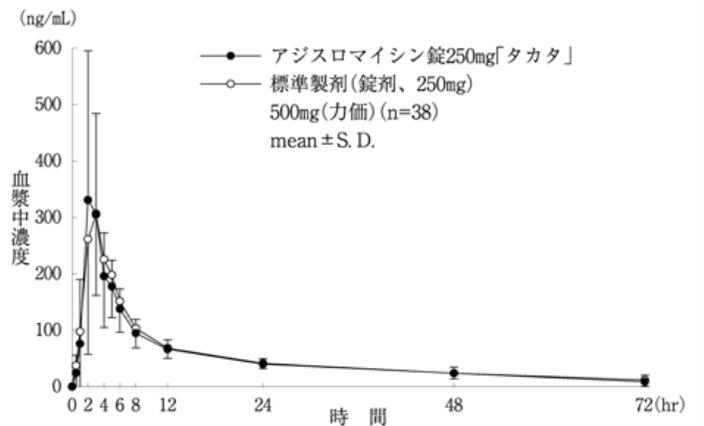
10



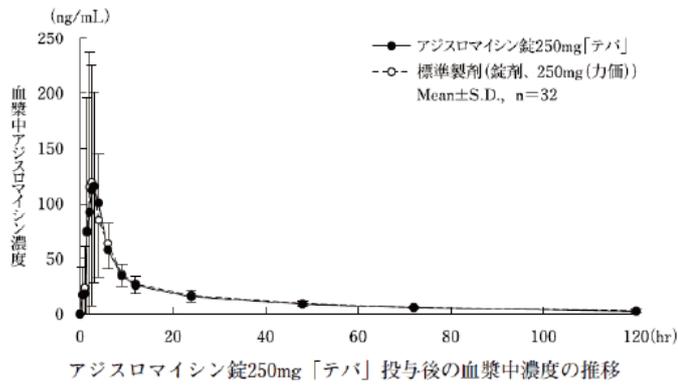
11



12



13



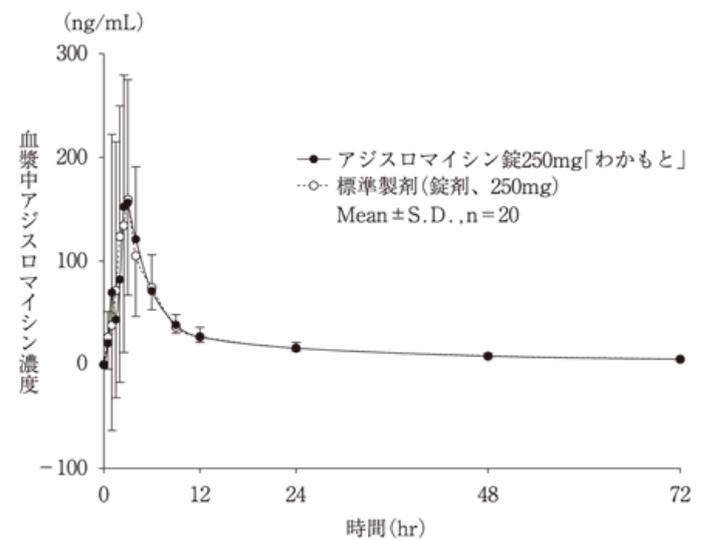
14

アジスロマイシン錠 250mg「トーワ」は、「含量が異なる経口固形製剤の生物学的同等性試験ガイドライン（平成 18 年 11 月 24 日 薬食審査発第 1124004 号）」に基づき、アジスロマイシン錠 500mg「トーワ」を標準製剤としたとき、溶出挙動が等しく、生物学的に同等とみなされた。

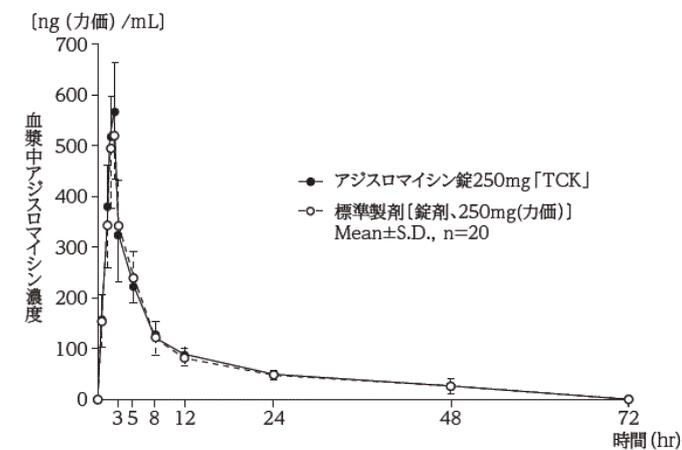
15

アジスロマイシン錠 250mg「日医工」は、「含量が異なる経口固形製剤の生物学的同等性試験ガイドライン（平成 18 年 11 月 24 日 薬食審査発第 1124004 号）」に基づき、アジスロマイシン錠 500mg「日医工」を標準製剤としたとき、溶出挙動が等しく、生物学的に同等とみなされた。

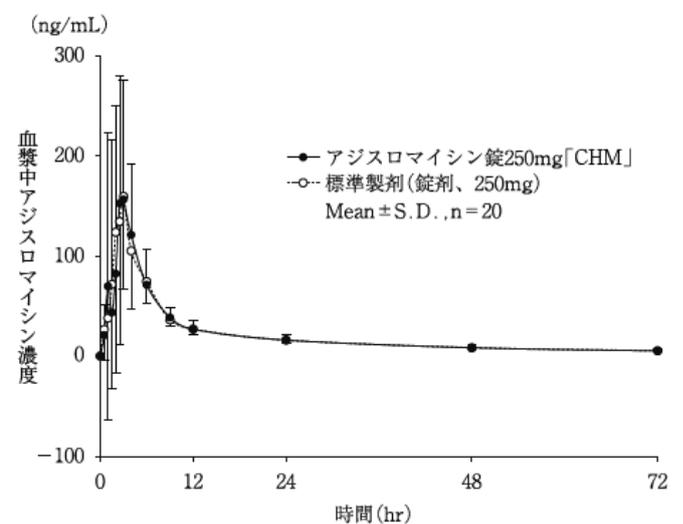
16



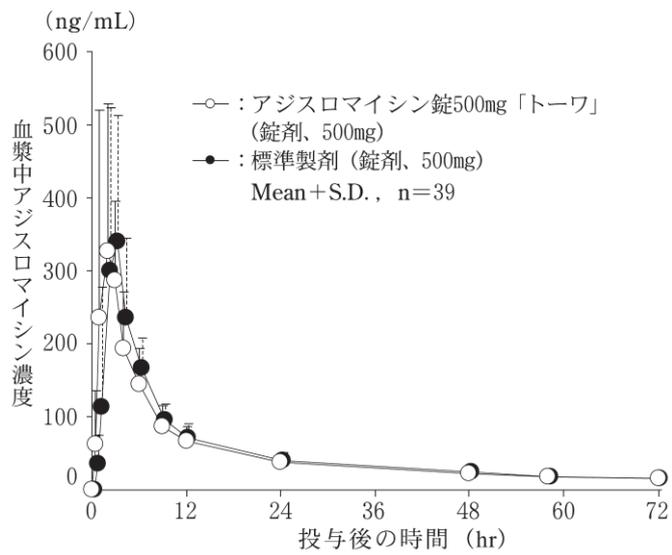
17



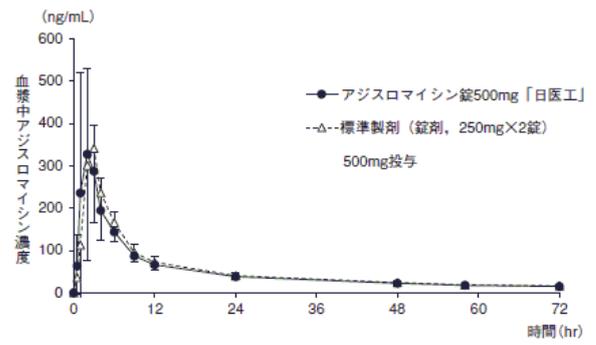
18



19



20



(Mean ± S. D., n = 39)

【品質再評価（医療用医薬品品質情報（オレンジブック））】

なし

【溶出試験結果（ジェネリック医薬品品質情報検討会）】

なし

【後発医薬品品質確保対策事業検査結果】

なし

アジスロマイシン水和物錠
Azithromycin Hydrate Tablets

溶出試験 本品1個をとり、試験液に pH6.5 のリン酸塩緩衝液 900mL を用い、溶出試験法第2法により、毎分 75 回転で試験を行う。溶出試験開始 30 分後、溶出液 20mL をとり、孔径 0.8 μm 以下のメンブランフィルターでろ過する。初めのろ液 10mL を除き、次のろ液 5mL を正確に量り、内標準溶液 4mL を正確に加え、リン酸三ナトリウム溶液 (19→125)・水酸化カリウム試験混液 (3:1) 400 μL を加えて試料溶液とする。別に力価試験用アジスロマイシン約 56mg (力価) に対応する量を精密に量り、試験液に溶かし、正確に 200mL とする。この液 5mL を正確に量り、内標準溶液 4mL を正確に加え、リン酸三ナトリウム溶液 (19→125)・水酸化カリウム試験混液 (3:1) 400 μL を加えて参照溶液とする。試料溶液及び参照溶液 50 μL につき、次の条件で液体クロマトグラフ法により試験を行い、内標準物質のピーク面積に対するアジスロマイシンのピーク面積の比 Q_T 及び Q_S を求める。

本品の 30 分間の溶出率が 85% 以上のときは適合とする。

アジスロマイシン水和物 ($C_{38}H_{72}N_2O_{12} \cdot 2H_2O$) の表示力価に対する溶出率 (%)

$$= W_s \times \frac{Q_T}{Q_S} \times \frac{1}{C} \times 450$$

W_s : 力価試験用アジスロマイシンの力価 (mg)

C : 1 錠中のアジスロマイシン水和物 ($C_{38}H_{72}N_2O_{12} \cdot 2H_2O$) の表示力価 (mg)

内標準溶液 4,4'-ビス(ジエチルアミノ)ベンゾフェノンのアセトニトリル溶液 (21→2,000,000)

操作条件

検出器: 紫外吸光光度計 (測定波長: 215nm)

カラム: 内径約 4mm, 長さ約 25cm のステンレス管に平均粒子径 5 μm の液体クロマトグラフ用オクタデシル化ポリビニルアルコールゲルポリマーを充てんする。

カラム温度: 40°C 付近の一定温度

移動層: リン酸位置水素カリウム 6.97g に水約 750mL を加えて溶かし、水酸化カリウム試液を用いて pH を 11.0 に調整した後、水を加えて 1,000mL とする。この液 400mL に液体クロマトグラフ用アセトニトリル 600mL を加える。

流量: アジスロマイシンの保持時間が約 10 分になるように調整する。

カラムの選定: 参照溶液 50 μL につき、上記の条件で操作するとき、力価試験用アジスロマイシン、内標準物質の順に溶出し、その分離度が 2.0 以上のものを用いる。

【関連情報】

なし

【引用情報】

- 1) ジスロマック錠 250mg／細粒小児用 10%／カプセル小児用 100mg（製造販売元：ファイザー株式会社）医薬品インタビューフォーム（2016年9月改訂、第20版）
- 2) 日本薬局方外医薬品規格第四部（抗生物質医薬品）の一部改正について（平成12年3月10日付け医薬発第248号、厚生省医薬安全局長通知）